

エコアクション21 環境活動レポート

(2018年1月～ 2018年12月)



発行：2019年2月5日



緑造園興業株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 事業年度	
2. 認証・登録の対象範囲	
(1) 登録事業所	
(2) レポート対象期間及び発行日	
(3) 実施体制図	2
(4) 役割・責任・権限	
3. 環境方針	3
4. 環境目標	4
5. 環境活動計画	5
6. 環境目標の実績	6
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	9
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
10. 具体的取組内容	11

【取組の対象組織・活動の明確化】

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

緑造園興業株式会社
代表取締役 植原成典

(2) 所在地

本 社	香川県高松市林町1073-3	TEL：087-869-4128
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426	TEL：087-899-1128
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2	TEL：0879-52-5340
資材置場	1.香川県さぬき市寒川町石田東1497 2.香川県木田郡三木町井戸407-1 3.香川県木田郡三木町井戸355-1	

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	開発部 部長 新川孝雄	
担当者	総務部 山下美和	TEL：087-869-4128

(4) 事業内容

造園工事業	土木工事業	とび・土工工事業
石工事業	舗装工事業	水道施設工事業
産業廃棄物収集運搬業許可（自社工事物件のみ） （許可番号 03703131469・有効期限 2021年12月17日）		

(5) 事業の規模

売上高	5億2,349万円
工事等の件数	715件
従業員	47名（うちパート17名）（2018年12月21日時点）

延べ面積

	本社	東讃営業所	さぬき営業所	資材置場-1	資材置場-2	資材置場-3
従業員	21名	25名	1名	無人	無人	無人
延べ床面積	20㎡	215㎡	13㎡	4,179㎡	935㎡	843㎡

(6) 事業年度

1月～12月

2. 認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

(1) 登録事業所

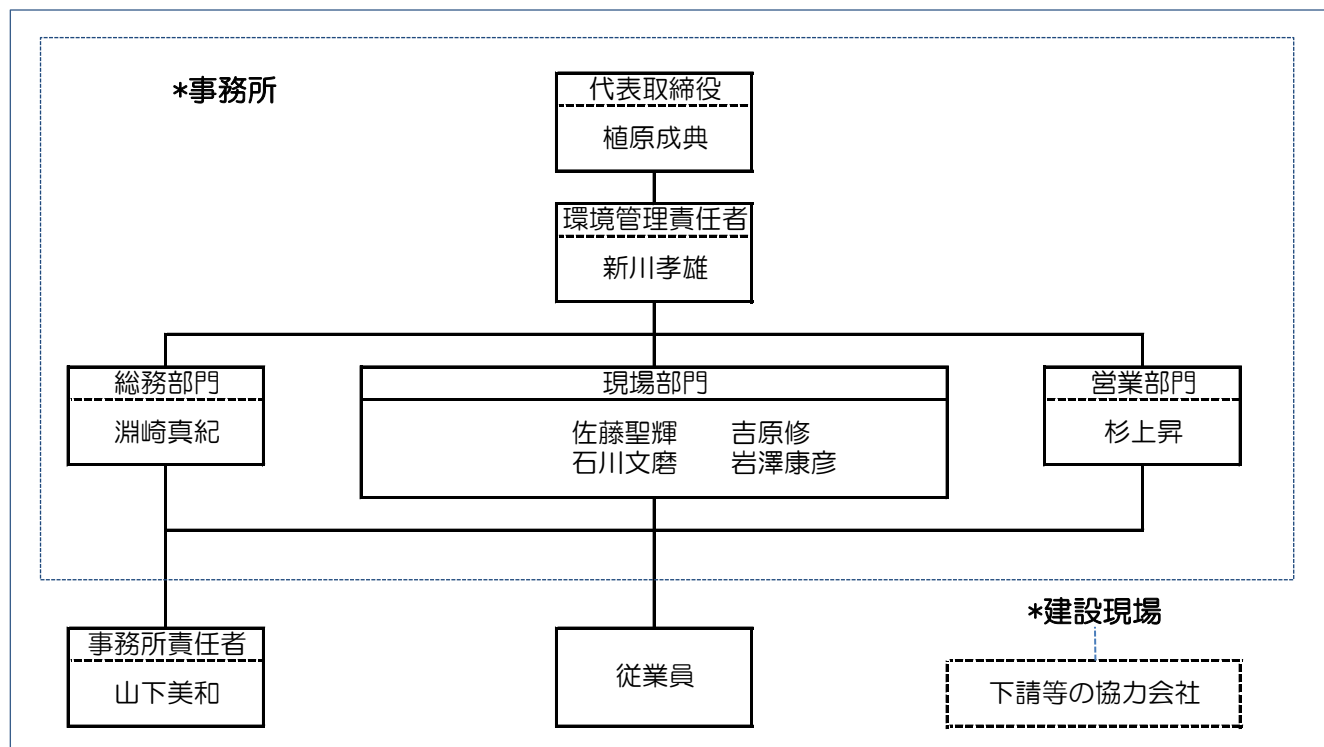
本 社	香川県高松市林町1073-3
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸426
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160-2
資材置場	1.香川県さぬき市寒川町石田東1497 2.香川県木田郡三木町井戸407-1 3.香川県木田郡三木町井戸355-1

関連事業所 無

(2) レポートの対象期間

2018年1月～2018年12月
発行日 2019年2月5日

(3) 実施体制図



(4) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 全従業員に対する教育・訓練の実施 - 環境目標、環境活動計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 緊急事態への対応マニュアルの承認 - 環境活動レポートを確認し、承認 - 環境関連法規等取りまとめ表の承認 - 取組に必要な手順書の承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境目標、環境活動計画書を作成 - 環境活動の取り組み結果を代表者に報告 - 環境活動レポートの作成 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 緊急事態への対応マニュアル作成 - 取組に必要な手順書の作成
部門長	- 環境管理責任者の補佐 - 環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境目標、環境活動計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計
全従業員	- 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 - 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

3. 環境方針

緑造園興業株式会社 環 境 方 針

基本理念

当社は、緑のある美しい豊かな環境を受け継ぎ次代に残していくことを責務と考え、深刻化する地球温暖化問題に自覚を持ち、本業である造園土木業を通じて、環境保全活動に全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ グリーン購入の推進
- ⑤ 化学物質量の適正使用・管理と削減
- ⑥ 環境配慮への取り組み
- ⑦ 地域社会への貢献

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境方針は、全ての従業員に周知し、環境活動レポートを広く一般に公表します。

制定日：2014年7月22日

代表取締役 植原 成典

4. 環境目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	131,701	131,042 0.5%削減	130,384 1%削減	129,725 1.5%削減
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,530	114,375 1%削減	113,219 2%削減	112,064 3%削減
水総使用量の削減	m3	330	328 0.5%削減	327 1%削減	325 1.5%削減
化学物質使用量の削減	kg	22	21 5%削減	20 10%削減	19 15%削減
グリーン購買の推進 ※4	品目	119	120 1%向上	121 2%向上	123 3%向上
剪定・除草ゴミの再資源化 ※5	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2014年～2016年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.669（kg-CO2/kWh）を使用した。
（四国電力発表2015年度実績に基づく）

※3 剪定・除草ゴミについては工事量の変化により、削減目標設定が困難なため、廃棄物排出量には含まない。

※4 文具品を中心にグリーン購入対象品を検討する。

※5 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

【短期目的・目標】

○取組期間 2018年1月 ～ 2018年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2018年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	131,701	130,384
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,530	113,219
水総使用量の削減	m3	330	327
化学物質使用量の削減	kg	22	20
グリーン購買の推進 ※4	品目	119	121
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取り組み）※5	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2018年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	34,038	33,698
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	530	519
水総使用量の削減	m3	281	279
グリーン購買の推進 ※4	品目	119	121
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2018年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	97,663	96,686
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,000	112,700
水総使用量の削減	m3	49	48
化学物質使用量の削減	kg	22	20
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取り組み）※5	%	100	100

5. 環境活動計画

○事務所

○取組期間 2018年1月 ～ 2018年12月

		具体的な取組み	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①使用しない箇所の消灯 ②節電啓発ポスターの貼付 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃） ④使用していないパソコンの電源を切る	山下美和
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急発進・急加速・急停止の防止 ③出発前の暖機時間の短縮	淵崎真紀
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③ゴミの分別の徹底 ④詰め替え可能商品の購入	山下美和
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付 ②流しっぱなしにしない	淵崎真紀
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③空き缶のプルタブの回収	山下美和
グリーン購入	グリーン購入	①グリーンマーク商品の購入	淵崎真紀
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和

○現場

○取組期間 2018年1月 ～ 2018年12月

		具体的な取組み	実施責任者
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急発進・急加速・急停止の防止 ③出発前の暖機時間の短縮 ④定期的な保守点検の実施	新川孝雄
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	新川孝雄
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付 ②流しっぱなしにしない	新川孝雄
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②B T 剤（微生物農薬）等を導入する	新川孝雄
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	新川孝雄

6. 環境目標の実績

【短期目的・目標・実績】

○取組期間 2018年1月 ～ 2018年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2018年度	実績 2018年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	131,701	130,384	113,358	13%削減	○
二酸化炭素の内訳 購入電力		9,519		8,662		
化石燃料		122,182		104,696		
廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,530	113,219	116,729	3%増加	×
水総使用量の削減	m3	330	327	311	5%削減	○
化学物質使用量の削減	kg	22	20	20		○
グリーン購入の推進 ※4	品目	119	121	122	0.8%増加	○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取り組み) ※5	%	100	100	100		○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2018年度	実績 2018年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	34,038	33,698	24,487	27%削減	○
二酸化炭素の内訳 購入電力		9,519		8,662		
化石燃料		24,519		15,825		
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	530	519	479	7%削減	○
水総使用量の削減	m3	281	279	244	13%削減	○
グリーン購入の推進 ※4	品目	119	121	122	0.8%増加	○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2018年度	実績 2018年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素（化石燃料）の削減 ※2	kg-CO2	97,663	96,686	88,871	8%削減	○
産業廃棄物排出量の削減 ※3	kg	115,000	112,700	116,250	3%増加	×
水総使用量の削減	m3	49	48	67	40%増加	×
化学物質使用量の削減	kg	22	20	20		○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取り組み) ※5	%	100	100	100		○

※1 2014年～2016年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.669 (kg-CO2/kWh) を使用した。
(四国電力発表2015年度実績に基づく)

※3 剪定・除草ゴミについては工事量の変化により、削減目標設定が困難なため、廃棄物排出量には含まない。

※4 文具品を中心にグリーン購入対象品を検討する。

※5 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○事務所

○取組期間 2018年1月 ～ 2018年12月

		具体的な取組み	実施責任者	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	①使用しない箇所の消灯 ②節電啓発ポスターの貼付 ③適正温度の維持（夏28℃冬20℃） ④使用していないパソコンの電源を切る	山下美和	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急発進・急加速・急停止の防止 ③出発前の暖機時間の短縮	淵崎真紀	○	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③ゴミの分別の徹底 ④詰め替え可能商品の購入	山下美和	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付 ②流しっぱなしにしない	淵崎真紀	○	○	○	○	○
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収 ③空き缶のプルタブの回収	山下美和	○	○	○	○	○
グリーン購入	グリーン購入	①グリーンマーク商品の購入	淵崎真紀	△	○	○	○	○
地域貢献	美化活動	①事務所周辺の清掃活動を実施	山下美和	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	今年は5種類の緑のカーテンに挑戦し、葉っぱでできた自然のカーテンが夏の日差しをやわらげ、事務所内の温度を低く保つことができた。事務所玄関の照明の消し忘れを防止するため、玄関入口と階段に人感センサー機能付きLEDライトを設置した。 社用車にドライブレコーダーを取り付けることで、安全運転の意識を高め事故防止に努めるとともに、運転時の急発進・急加速・急停止を抑制し、ガソリン使用量の削減につながった。安全運転を推進しながら、エコドライブの推進も行うことができた。 また、12月は暖かい日が多く事務所内のガストーブを使わずに過ごしたことで、二酸化炭素排出量の削減となった。	引き続き緑のカーテンに挑戦し、使用していない箇所のこまめな消灯や冷暖房の設定温度を適温にするなど、少しでも節電できるようにしていきたい。年々、購入電力の大幅な削減は難しくなってくると思うが、できる限りの節電対策を継続に行っていきたい。また、安全運転とエコドライブも意識するよう社内会議などでの声かけをしていきたい。
廃棄物	紙の消費量は年々減少傾向にあり、両面印刷、裏紙の再利用はもちろん、印刷前のレイアウトや校正の事前確認は、引き続き全社員が徹底して行っている。個人のゴミ箱にも分別表示を行ったことで、安易に廃棄物として処理しないように意識をもって取り組めた。 不必要なカタログ請求をやめ、使用期限切れのカタログはメーカーに引き取ってもらう等、雑誌等の廃棄物の削減を図った。	今後も出来る限り分別を行い、安易に廃棄物として処理しないようにし、より一層の資源化を推進していきたい。引き続き不要なものを購入しない、今あるものをリサイクルする等、無駄を省いて廃棄物の削減を目指したい。
水使用量	花の水やりは雨水を再利用し、水道水は流しっぱなしにしない等、節水意識をもって取り組めた。目標値は達成し、使用量は前年実績と同量であった。	現状の取り組み内容を再度徹底指導していきたい。社員の節水意識が低下しないよう、引き続き声かけを行いポスターの掲示方法にも工夫を加えていきたい。
リサイクル	社員全員に、ゴミの分別、リサイクル化への仕組みが浸透したことで、昨年以上に資源物のリサイクル化ができたように思う。使用済みインクカートリッジ回収、コピー用紙やダンボール、古紙のリサイクル、使用済み切手の回収等を引き続き実施した。	徹底的に資源物のリサイクル化を図り、使い捨て型の消費を見直し、資源の無駄づかいを減らしていきたい。
グリーン購入	グリーン購入の基本である、製品を購入する前に必要性を十分に検討してから購入するように心がけることができた。グリーン購入数は目標値を達成したものの、前年実績よりも少なくなってしまった。	今後も引き続き製品を購入する前に、まずその必要性を十分に考え無駄な購入を減らせるよう心がけたい。
地域社会への貢献	毎月、事務所や倉庫周辺道路や側溝の清掃を行った。今年も「88グリーンウォーク」「ライオンズ奉仕活動」等のボランティア活動へ参加した。また、10月28日地域で行われたイベントでは花の無料配布や苔玉教室を開催し、たくさんの方に喜んでいただいた。	次年度も会社と社員が一体となり、地域社会の一員として、地域に密着した社会貢献活動を積極的に行い、様々な活動に取り組んでいきたい。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○現場

○取組期間 2018年1月 ～ 2018年12月

		具体的な取組み	実施責任者	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急発進・急加速・急停止の防止 ③出発前の暖機時間の短縮 ④定期的な保守点検の実施	新川孝雄	○	○	○	○	○
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	新川孝雄	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①節水啓発ポスターの貼付 ②流しっぱなしにしない	新川孝雄	○	○	○	○	○
化学物質	化学物質使用量の削減	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する	新川孝雄	○	○	○	○	○
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底	新川孝雄	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	年間を通じて、従業員一人ひとりのエコに対する意識が自然と身についていると思われる。	今以上の向上心をもって実施する。
廃棄物	分別もきちんと出来ており問題ないと思われる。現場作業量が年々増えているため、廃棄物も増加している。	取引先との商品の受け取りを、引き取りできる商品は取りに行くようにし、配送時の梱包材を減らすようにしていきたい。
水使用量	全体を見れば削減しているが、現場による灌水や薬剤散布などの量が増加している。	灌水や薬剤散布など、なるべく地下水の利用を多くするようにする。
化学物質	今年は、薬剤散布によるアレルギー体質の方に体に影響が少ないBT剤のトアロー水和剤を部分的に実施した。	化学物質の使用量を下げ、BT剤による散布量を増やしていきたい。
剪定・除草ゴミの再資源化（組織本来の取組）	リサイクル業者への持ち込みを継続したい。	職場内での小さい剪定ゴミや運動公園などの芝の刈草などを、農家さんの畑に使用する混入肥料への検討をしたい。

8. 環境法規制等遵守 チェックの確認及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守チェック 結果
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、処分	遵 守
	産業廃棄物の投棄禁止、焼却禁止	遵 守
	産業廃棄物の委託処理、マニフェストの交付、保管	遵 守
リサイクル法	建設副産物の発生抑制、再利用、再生利用、再資源化努力	遵 守
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体、再資源化の促進、再生資源の使用	遵 守
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	遵 守
	下請負人に対する元請業者の指導	遵 守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正処理	遵 守
家電リサイクル法	対象4品目の廃家電の適正処理	遵 守
小型家電リサイクル法	対象28品目の廃家電の適正処理	遵 守
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進	遵 守
グリーン購入法	環境物品等の選択	遵 守
大 気 汚 染		
オフロード法	特定特殊自動車使用者の責務、使用の制限	遵 守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の適切な設置と簡易点検の実施	遵 守
	フロン類の漏えい時の措置、機器廃棄時のフロン回収	遵 守
大気汚染防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	遵 守
騒 音 ・ 振 動		
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
水 質 汚 濁（排 水）・土 壌 汚 染		
水質汚濁防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
下水道法	公共下水道への排水基準の遵守	遵 守
浄化槽法	浄化槽保守管理、定期検査	遵 守
	浄化槽からの廃棄物の排出	遵 守
PRTR法	第1種指定化学物質の適正管理	遵 守
農薬取締法	農薬の使用者の責務、使用規制	遵 守
そ の 他 関 連 法 令		
消防法（危政令）	火気の使用に関する規制	遵 守
労働安全衛生法	労働災害発生の防止	遵 守
	危険物及び有害物に関する規制	遵 守
	労働者就業に当たっての措置	遵 守
香川県環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守
高松市環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

当社は、エコアクション21運用開始から、丸4年間の活動を行ってきた。その間社員一丸となり自発的・積極的な環境活動を続けた結果、当初の目標値もほぼ達成できており個々の意識も向上してきたと感じている。

今回の数値では水使用量の増加が気になるところではあるが、工事の性質上、植栽維持管理の高温時の水やりなど天候に左右された事は許容範囲内であると考ええる。

今年度は工事量も増え、創業以来の過去最高売上高となっており、今後の取り組みをさらに質の高いものに必要がある。今回から担当者を順次交代し、社員全員が環境問題に対する法令や条例、その他の規則等を積極的に遵守していけるような体制づくりを試みた。

今後5年間を見据えた当社独自の取り組み、地域貢献活動やボランティア活動といった社会貢献なども模索しながら、これからも環境負荷低減と環境貢献の両立を目指していく。

10. 具体的取組内容

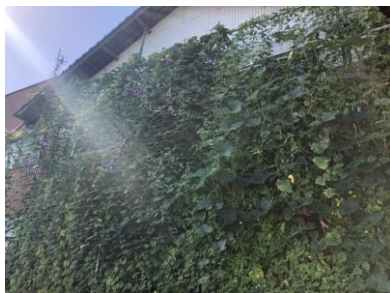
●消費電力量の削減にむけた取組み●

（緑のカーテン設置）

今年5年目となる緑のカーテンでは、ゴーヤ、かぼちゃ、きゅうり、なす、オーシャンブルーを植えつけ5種類の緑のカーテンに挑戦した。各種たくさんの葉が2階の窓まで茂り、葉っぱでできた自然のカーテンが夏の日差しをやわらげ、事務所内の温度を低く保つことができた。気温を下げる効果はもちろん、ブルーの大きな花がきれいに咲き、見た目にも癒された。また各種たくさんの実を収穫することができた。緑のカーテンづくりを通じ、社員間のコミュニケーションが図れ社員ひとりひとりの省エネ意識と環境意識向上につながった。



（植えつけ状況）

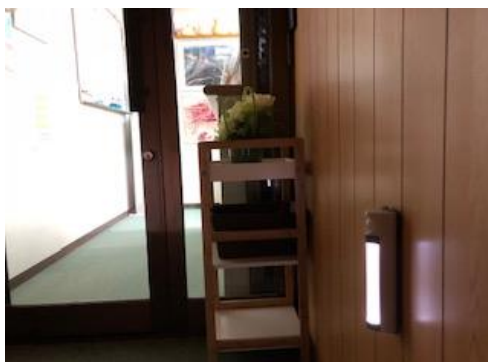


（事務所南側）

（収穫物）

（人感センサー機能付きLEDライト設置）

事務所玄関の照明の消し忘れを防止するため、玄関入口と階段に人感センサー機能付きLEDライトを設置した。玄関の照明をつける回数も減り節電につながった。



●消費燃料の削減にむけた取組み●

（社用車ドライブレコーダー設置）

社用車にドライブレコーダーを取り付けることで、安全運転の意識を高め事故防止に努めるとともに、運転時の急発進・急加速・急停止の防止になりガソリン使用量の削減につながった。安全運転を推進しながら、エコドライブの推進も行うことができた。



●環境・社会貢献に関する取組み●

（資源物のリサイクル）

ゴミの分別をすることが当たり前になるようになり、事務所から排出されるコピー用紙、ダンボール、新聞、雑誌類はもちろん、トナーカートリッジ、ネームランド、切手、ペットボトルキャップなども分別してリサイクルするように取り組んでいる。



●地域貢献への取組み●

（職場体験・インターンシップの受け入れ）

当社では毎年、地元中学の職場体験学習や、高校のインターンシップなどの受け入れを行っている。



（苔玉教室）

地域で行われたイベントでは、花の無料配布や苔玉教室を開催し、たくさんの方に喜んでいただいた。



（事務所周辺の清掃活動）

周辺道路や歩道上はもちろん、道路わきのゴミの撤去、側溝の清掃を定期的に行っている。



（地域貢献活動・ボランティア活動）

地域ボランティア活動への参加など地域に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。



（88クリーンウォーク奉仕活動）